

陳 情 文 書 表

平 2 4 陳 情 第 1 6 号	平成 2 4 年 9 月 1 8 日 受 理
件 名	渋 沢 ・ 峠 地 区 の 巨 大 霊 園 建 設 計 画 地 の 見 直 し を 求 め る 陳 情
陳 情 者	秦 野 市 名 古 木 3 7 6 - 8 秦 野 の 自 然 と 環 境 を 守 る 会 代 表 山 本 と し 子 秦 野 市 千 村 3 - 1 7 - 1 - 4 0 3 さ ん げ つ 会 代 表 日 置 乃 武 子
陳 情 の 原 文	
<p>陳 情 趣 旨</p> <p>現 在、公 益 財 団 法 人 相 模 メ モ リ ア ル パ ー ク に よ っ て、渋 沢 ・ 峠 地 区 に 約 2 0 ヘ ク タ ー ル、1 万 5, 0 0 0 区 画 に 及 ぶ「(仮 称) 相 模 メ モ リ ア ル パ ー ク 第 2 霊 園」建 設 の 計 画 書 が 市 に 提 出 さ れ て い ま す。私 た ち は、以 下 の 理 由 か ら 事 業 計 画 地 の 移 転 を 求 め ま す。</p> <p>1 国 ・ 県 ・ 市 が 保 全 す べ き だ と す る 貴 重 な 自 然 環 境</p> <p>事 業 計 画 地 は 平 成 1 6 年、環 境 省 が 全 国 4 か 所 に 限 っ て 選 定 し た「里 地 里 山 保 全 再 生 モ デ ル 事 業 地 域」の 一 つ で す。ま た、「秦 野 市 緑 の 基 本 計 画」で、渋 沢 丘 陵 は「み ど り の 骨 格 を 形 成 す る 緑 地」と さ れ、「渋 沢 地 区 保 全 配 慮 地 区」に 指 定 さ れ て い ま す。</p> <p>県 に よ る「地 域 環 境 評 価 書」で も 総 合 評 価 A 1 と い う 最 高 評 価 を 与 え ら れ、計 画 地 一 帯 は「大 磯 丘 陵 の 自 然 の 核 心 部」と 位 置 づ け ら れ、「地 形、水 系、緑 を 一 体 と し て 保 全 す る こ と が 望 ま し い」と さ れ、「広 域 的 に 保 全 す る 必 要」が 強 調 さ れ て い ま す。こ の よ う な 場 所 に 巨 大 霊 園 の 造 成 を 認 め る こ と は、国 ・ 県 ・ 市 の 大 局 的 な 方 針 と 矛 盾 し ま す。</p> <p>本 市 に お い て と り 行 わ れ た 全 国 植 樹 祭 の 趣 旨 に 照 ら し て も 不 適 切 と 言 わ ざ る を え ま せ ン。た と え、い わ ゆ る「法 の 網」に か か っ て い な い に し て も、計 画 地 は 様 々 な 指 定 ・ 評 価 を 受 け て お り、私 た ち が 子 々 孫 々 に い た る ま で 保 全 す べ き 貴 重 な も の で あ り ま す。</p> <p>2 事 業 者 の ア セ ス に は 生 物 多 様 性 の 観 点 が 欠 け て い ま す</p>	

事業計画地及びその周辺は、県内でも極めて生物多様性に富んだ地域です。事業者の調査によっても、オオタカ、ノスリなど絶滅危惧種を含めて鳥類86種のうち29種が重要種です。国蝶オオムラサキは今では事業計画地付近が貴重な生息地になってしまいました。ウラゴマダラシジミも現在、その群れ飛ぶ姿は計画地一帯にしか見られません。これらの種は計画地の、他に代え難い豊かな生物多様性を示しています。

事業者がいまだに確認していないゲンジボタルとクロマドボタルは、渋沢丘陵が隆起する有史以前から生息している「生粋の秦野っ子」の可能性があり、その生態や遺伝子などの研究も今後の課題として残されています。

事業者が行った「自主的環境影響予測評価」は主に重要種に偏っており、それらを含めたもっとも本質的な視点である生物多様性の保全については無視されています。たとえば、計画地に隣接する大井町の21.3ヘクタールが県によって「篠窪自然環境保全地域」に指定されているにもかかわらず、大井・中井町などと繋がる「緑の回廊」は考慮されていません。

3 将来にわたる安定的な経営に不安があります

1万5,000区画もの巨大霊園が将来にわたって安定的な経営・管理ができるのか、市民の多くが一様に心配することです。

本市の年間墓地需要は240区画程度しかありません。国民の墓地に対する意識は大きく多様化しています。朝日新聞（平成16年）のアンケートでは、遺骨は「墓に埋葬」が51%、「散骨」が28%、「樹木葬など墓以外に埋葬」が11%、「その他」が10%です。

墓地需要の予測にあたっては市民の意識の変化や国際的な経済情勢の推移など、これまでと違った要素を加える必要が生じており、その算定が困難になっている現実があります。

4 地震、大雨・・・急傾斜地の埋め立ては危険です

霊園は、標高差100メートル、傾斜30～35度の急峻な尾根を削り沢を埋めて造成されます。埋め立て部分は8.3ヘクタール、43%を占めます。谷を埋めた土地がいかに地震や大雨・長雨に対して脆弱であるかは各地の例を見るまでもありません。

事業計画地付近には神縄・国府津－松田断層帯が存在し、今後30年以内に地震が発生する確率は、活断層型の地震では全国で最も高いとされています。その他、神奈川県西部はマグニチュード7～8クラスの地震が切

迫している地域の一つになっています。

大雨・長雨による土砂災害も各地で頻発しています。事業者は100ミリ／時間までを想定していますが、この夏、県内を含む各地でこれを超える雨が幾度か降りました。気象情報に「これまで経験したことのないような大雨」が付け加えられたほどです。

5 墓地は安全な土地に

大磯丘陵の自然の核心部であり、最も急峻な溪谷の源流部を埋め立てて造成される霊園が、土砂災害によって下流部に崩壊したら復元は不可能です。利用者の遺族、経営者の被害は取り返しがつきません。事業者自身も破綻に追い込まれかねません。また、現計画では数十億円の工事費と3年の歳月を要するであろうとのことですが、これを安全な土地での建設に変えることによって投資が大幅に減少し、利用者も安心して購入できるようになることから、事業者にとって将来にわたって安定的な経営・管理につながる大きな保証になることと思います。平成12年の厚生省生活衛生局長による「墓地経営・管理の指針等について」において、墓地の許可権限者には一定の裁量が認められています。幸い事業者は他に開発済みの土地や購入可能な土地を持っていると聞いております。

陳情事項

- 1 渋沢・峠地区に計画されている巨大霊園を安全な場所に移転し、市民に安全な墓地を提供するよう事業者と慎重に協議することを市に要請してください。